

商標 とれたて!!

take out a trademark

様々なジャンルを発掘
多角化経営に挑む
GarinPeiro

株式会社SAR

ポルトガル語で金鉱採掘人、発掘人を意味する「GarinPeiro(ガリンペイロ)」。
秋田市山王で飲食店を経営しながら、アパレルブランド「GarinPeiro」を立ち上げ、
2019年4月に商標登録を取得。同名でイベントを主催するなど、多角的に活動している。

多角化経営でリスクを分散

秋田市で飲食業、アパレル業、イベント業といった様々な事業を手掛けているのが株式会社SARの一関貴大代表だ。一見、全く異なる業種であるように見えるが、それぞれをうまく融合することで事業の拡大を目指している。

「異業種に参入しようと思ったきっかけは、飲食業だけに頼ることのリスク分散を考えてのことでした」。

県外出身の一関代表は、首都圏で芸能関係の仕事に携わっていたこともある異色の経歴の持ち主であるが、結婚を機に秋田市に移住。秋田市山王で飲食店の経営を始めたものの、官庁街という立地条件のためか季節によって売上高に波があった。

「落ち込むのは長期休みが多い5月、8月。この時期の集客のため、音楽好きの仲間を声かけ、DJイベントなどを開催していました。さらに年間を通して出来る事業がないか、と考えたときに思いついたのがアパレル事業です」。

2018年6月、小規模スペースで内製化できるTシャツ作りを開始した。Tシャツは、音楽好きの仲間や芸能関係の仕事で培った人脈を通して人気ラッパーやタレントが着用。ブランド名「GarinPeiro」の名とともに、SNSを介して瞬く間に人気広がった。

商標登録で更なる広がり

全国から注文が舞い込むようになったことで「GarinPeiro」というブランド保護の必要性を感じた一関代表は、ロゴマークとともに商標を申請し、今年4月に登録された。アパレル事業が軌道に乗ったことで、イベント事業も強化し、8月には秋田市エリアなかいかいで東北最大級のHIPHOPイベントを行った。イベントでのオリジナルTシャツの販売はもちろん、イベント名にも「GarinPeiro」を採用することで更なるブランドの構築に成功した。

「現在はWEB販売が主ですが、今後は県外のセレクトショップへの展開やアーティストとのコラボTシャツなど、やりたいことはたくさんあります」と語る一関代表。

自身の経験と培った人脈を生かした多角化経営への意欲と挑戦は、まさに“発掘人”にふさわしく、ますます広がっていく。



代表取締役
一関 貴大

Takahiro Ichinoseki

株式会社SAR

〒010-0951
秋田県秋田市山王3-8-27
ひばりビル2F
TEL/FAX. 018-893-3093
<http://garinpeiro.com>

会社概要

飲食事業部・アパレル事業部・
衣料品製造事業部・イベント事業部

